

令和元年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康で、よく考えて判断する力と自主的に行動するたくましい実践力をもち、誠実で思いやりがあり、豊かな心を持った児童の育成を目指す。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】 <一人一人が いきいきと 輝く 御幸小>

- ・ 子供たちが毎朝早く学校に行って、友達や先生と一緒に、勉強や運動をしたいと思える学校
- ・ 教職員が職場の仲間と一緒に、子供たちのために実践と研修に励む学校
- ・ 保護者や地域住民と一緒に、地域の学校を誇りに思い、進んで手伝いたくなるような学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲を持って取り組む子供の育成～

（１）児童がいきる学校（共に伸びる子供）

児童一人一人がいきいき、のびのびと活動し、様々な「できた楽しさ」を味わう中で、自分の将来の自立と共生に向けて、「豊かな心」「確かな学力」「健康・安全」の育成・向上に努める。

① 豊かな心（やさしく）の育成

- ・ 児童一人一人が生き生きとした学校生活が送れるようにするため「豊かな心育成全校運動」を推進する。

② 確かな学力（かしこく）の向上

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究会を実施するとともに、基礎・基本の定着を図るため「チャレンジ学習全校運動」を推進する。

③ 健康・体力（たくましく）の向上

- ・ 健康で安全な生活習慣を身に付け、体力の向上を目指す児童を育成するため「元気っ子活動全校運動」を推進する。

（２）教職員がいきる学校（共に高め合う職員）

使命感に徹し、協働体制のもと、各自が特性を発揮し、授業力・学級経営力など教師としての資質・能力の向上に努める。

○（３）家庭・地域といきる学校（共に歩む学校）

地域学校園や家庭・地域との連携・協力のもと、様々な地域の教育資源を活用することにより子供たちのより良い成長に努める。

4 教育課程編成の方針

（１）基本方針

- ① 日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校学習指導要領・栃木県教育委員会の指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するよう編成するための経営方針や前年度の学校マネジメントの成果と課題、本年度の方策等を踏まえた特色ある教育課程を編成する。
- ② 「第２次宇都宮市学校教育スタンダード」における目標を具現化し、「小中一貫教育・地域学校園」の実施に合わせて、目指す児童像を実現するための学校の在り方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。
- ③ 教育目標の具現化に向け、本校がこれまで積み重ねてきた伝統を生かしながら、徳（やさしく）・知（かしこく）・体（たくましく）の調和の取れた教育課程を編成する。

(2) 具体方針

- ① 本校は、平出工業団地が隣接していることや新興住宅地域であることなど、地域性や保護者の実態に応じ、学校—家庭—地域が一体となった教育を推進するよう編成する。
- ② 児童の発達段階や特性，児童を取り巻く社会環境・情勢の変化，問題行動の複雑化・多様化，家庭・地域教育力の現状，社会体験や自然体験等の実施などを把握し，児童の実態に応じた教育課程を編成する。
- ③ 自ら学ぶ意欲と変化に対応できる能力を身に付け，個性を伸ばし創造性ある人間育成を目指した教育課程を編成する。
- ④ 鬼怒地域学校園・小中一貫教育の理念に沿い，制度の円滑な実施と趣旨に応じた創意ある取組の促進を目指した教育課程を編成する。
- ⑤ 体育館・プール新築工事に伴う教育活動全般の見直し・改善や実施時期・方法等に配慮した教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校経営

- ・ 学ぶことの楽しさが実感できる授業実践と授業力の向上を目指すとともに，道德教育を通して，豊かな心と自主性を育む教育の推進に努める。
- ・ 行事の精選や諸計画の見直し，業務の適正化を図り，児童と向き合う時間や教師の研修時間の確保に努め，より良い学級経営，教科経営の推進を図る。
- 家庭や地域，鬼怒地域学校園との連携を深め，地域人材の支援を得た体験活動を重視し，未来に向かって力強く頑張ろうとする意欲に満ちた児童を育成する。

(2) 学習指導

- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。
- ・ 基礎学力定着への取り組みを行う。
- ・ 積極的な読書活動推進のための手立てを行う。

(3) 児童生徒指導

- ・ 学校生活のためのきまりやマナーを守る意識を高める。(集団生活のきまりの徹底化)
- ・ いじめのない学校への取り組みを行う。
- ・ 時と場に応じたあいさつと正しい言葉づかいの習慣化を図る。

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- ・ 運動を伴う遊びを奨励する。
- ・ 走跳投の基礎感覚・基礎技能を高めるための取り組みを行う。
- ・ 食への意識・意欲を高める。
- ・ 登下校時の安全意識を高める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○主体的、対話的で、深い学びの具現化を図る。 ・友達と協力して活動したり、思いや考えを伝えあったりできるような学びあいの場を設定する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は91.4%，教職員の肯定的回答は96.6%と、目標指標を上回った。 ・授業のねらいや目的に応じてペア・グループ学習を意図的に設け、児童相互の積極的なコミュニケーションを促す学習形態の工夫を行うことにより、児童は学び合うよさを実感しながら意欲的に学習に取り組むようになってきた。 ・研究課題の実現に向けて、研究授業や一人一授業、提案授業を実施し、校内研修の充実と教員の指導力向上を図った。 【次年度の方針】 ・引き続き、研究教科やテーマを絞り、授業改善に向けて校内研修のさらなる充実を図る。
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○あらゆる場面での「豊かな心の育成」の推進を図る。 ・本校の合言葉「やさしく かしこく たくましく」の周知 ・道徳の授業を核として、学校生活のあらゆる場面での指導 ・委員会活動や縦割り班活動の充実	B	【達成状況】 ・教職員の目標指標を6.6ポイント上回った。 ・児童の目標指数は90%に近い結果であった。 【次年度の方針】 ・各クラスの帰りの会等などで親切にもらったことや優しくしてもらったことを伝え合う場を設ける。 ・道徳の授業で思いやりについて考えさせる。
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○安全な学校生活を送るためにきまりやマナーを守る意識の向上を図る。 ・「みゆきよい子の一日」の家庭への配付と学級掲示 ・職員会議にて「共通理解と指導の統一」 ・毎月の週番（週間目標）の周知と掲示 ・学年、学級による「きまりやマナー」の指導 ・集団の場における話の聞き方のきまりの徹底	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率がほぼ目標指数であった。 ・教職員・保護者・地域の肯定的回答率がほぼ90%と高い水準であった。 ・児童指導委員会で、日常における指導の問題点を共有し、改善するための方策を検討した。 ・児童指導委員会を毎月職員会議の最後に開催し、情報を共有した。 【次年度の方針】 ・安全な学校生活のためのきまりやマナーを教職員で共通理解を図り、指導を統一する。 ・常時、指導について共有する場を設ける。

A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・保護者の肯定的回答率 80%以上 ・地域住民の肯定的回答率 80%以上	○あいさつに対する意識向上を図る。 ・児童によるあいさつ活動の実施（委員会による毎週金曜日のあいさつ運動） ・職員からの積極的なあいさつの励行	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率は91.2%，地域住民は93.3%と目標指標を上回ったが、保護者の肯定的回答率は77%と目標指標を下回った。 ・あいさつ運動の実施や、教員からのあいさつの励行により、以前よりも学校内でのあいさつを元気にできるようになってきた児童が見られるようになってきた。 【次年度の方針】 ・登下校時などの学校外でのあいさつに課題が残るため、今年度同様、あいさつ運動などで継続的な指導に努める。
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・保護者の肯定的回答率 90%以上 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○目標を設定して取り組ませる指導を行う。 ・本校の「めざす児童像」の「健康でねばり強い子」の育成 ・学期始め等に学習・生活の目標の設定 ・年3回のチャレンジテストの実施 ・体育等における各検定カードの活用（みゆき元気っ子ファイル）	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が88.3%，保護者の肯定的回答が76.1%，教職員の肯定的回答が86.2%と指標を下回っている。 自分のめあてに向かってその都度、状況や達成したかどうかの振り返ることができていないことが考えられる。 【次年度の方針】 ・チャレンジテストにおいて、1回目で合格しなかった子たちにも新たな目標を設定させ、再テストで合格した子たちにも賞を与えるなど達成感を味わうことができるようにしていく。 ・めあてを立てるが、それについて達成するための手立てを考えたり、振り返ったりする機会を設けていく。
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・保護者肯定的回答率 80%以上	○運動への意欲の向上を図る。 ・毎週水曜日の昼休みに、外遊びの日を設け、運動への意識の向上を図る。 ・月に1度のスポーツウィークを実施する。 ○望ましい食習慣づくりの推進を図る。 ・お弁当の日・おにぎりの日の実施。 ・栄養士が各クラスで共食、指導に当たること給食指導の充実。 ○児童一人一人が自分の安全を確保するという意識を育てる。 ・安全マップの作成や登下校時の危険を想定した指導の充実	B	【達成状況】 ・肯定的回答率は児童が89.7%で4.7ポイント、保護者が82.8%で2.8ポイント目標指数を上回った。 ・体育館・プールの工事により校庭の使用範囲が狭まっていたため、密集して利用することが多かったが、安全を確認しながら利用することができていた。 ・栄養士が各クラスで共食、指導に当たること、児童の給食への関心が高まった。 【次年度の方針】 ・引き続き、今年度同様の取り組みを行っていく

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 80%以上 ・教職員肯定的回率 85%以上	○年間指導計画に基づく計画的な実践を行う。 (なりたい自分みつめよう) ・道徳教育の充実 ・出前授業や見学・体験学習を取り入れた学習の展開 ・地区内工業団地との連携	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が88.3%，教職員の肯定的回答が86.2%と児童、教職員とも目標指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・キャリア教育との関連付けた授業や話、指導をしていく。 ・図書室の利用で仕事を知る機会を設ける。 ・引き続き今年度と同様の取り組みをしていく。
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。 ・ALT との綿密なミーティングを行い指導の充実を図る。 ・児童相互や児童対教師など、「人」との関わりが持てる活動を設定する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88.3%，教職員の肯定的回答率は86.2%であった。 ・児童の興味関心を高め、「人」との関わりが持てる活動を工夫して行うことにより、英語によるコミュニケーションに対して意欲的になってきている。 【次年度の方針】 ・児童が楽しみながら積極的に英語を使つてのコミュニケーションができるように、ALT との打ち合わせを綿密に行い、指導の充実を図るとともに、教員の授業力向上に努める。
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・児童の肯定的回答率 85%以上	○様々な機会をとらえて、宇都宮の特長を考えさせる指導に努める。 ・給食の地産地消メニューから地元の特産品に触れる。 ・スタンダードダイアリー、宇都宮の歌、みや元気っこ体操の活用	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が55.2%と目標指標を大きく下回った。 【次年度の方針】 ・今年度の取組に加え、宇都宮学の充実を図り、郷土の愛着を持てるようにしていく。 ・生活の中で随時、郷土（宇都宮）について取り上げていく。
A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○ICT機器や図書資料を有効に活用して学習する機会を設ける。 ・調べ学習、まとめ学習での積極的なICTの活用。 ・図書室の積極的利用と図書館司書との連携	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率78.3%・教職員の肯定的回答率93.1%で目標指標を上回った。 【次年度の方針】 ・さらに調べ学習、まとめ学習での積極的なICTの活用をしていく。 ・児童への図書室の積極的利用の働きかけ、担任と図書館司書との連携を図っていく

目 指 す 学 校 の 姿	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 ・児童肯定的回答 90%以上 ・教職員肯定的回答 90%以上	○お年寄りとのふれあう機会を充実させる。 ・5年生及び6年生による「お年寄りとの交流会」の実施 ・生活科「昔遊びを教わろう」の学習 ・運動会等への招待	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率は88.1%となっていて、目標指数を1.7ポイント下回った。 教職員の肯定的回答率は96.6%となっていて目標指数を6.6ポイント上回った。 ・中学年のお年寄りとの交流の機会が他学年に比べて少なかったことも児童の目標指数が下回った原因であると考えられる。 【次年度の方針】 ・引き続き今年度と同様の取り組みをしていく。 ・全学年で満遍なく交流の機会を設けられるようにしていく。
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上	○様々な学習を通じて、環境や平和に関する認識を深め、持続可能な社会を考える機会を設ける。 ・総合的な学習の時間で持続可能な社会に関するテーマを取り上げる。 ・社会科における環境や平和に関する学習	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率82.6%であり、目標指標をわずかに下回った。 【次年度の方針】 ・持続可能な社会とは、「地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会。」と言われている。このことを様々な学習を通して考える機会を設けていく。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上。	○特熱な支援を必要とする児童の実態の把握と個に応じた指導を実施する。 ・「特別支援教育コーディネーター、児童指導主任を通信にした実態把握と情報共有 ・保護者や関係機関との連携 ・時宜を得たケース会議の実施	B	【達成状況】 ・教職員は100%であり、目標指標を上回った。 【次年度の方針】 ・引き続き今年度と同様の取り組みをしていく。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・保護者の肯定的回答率 80%以上	○いじめ防止対策の取り組みを行う。 ・「いじめ」をテーマにした道徳の授業参観の実施 ・学年便りによる情報発信 ・年4回以上のアンケートの実施 ・委員会によるいじめ防止集会の実施 ・いじめ0標語やポスターの制作と掲示 ・保護者の考えるいじめ0標語の掲示	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が目標指数を6.9ポイント上回った。 ・保護者の肯定的回答が目標指数にわずかに及ばなかった。 【次年度の方針】 ・年に1回の授業参観で行われる授業を全クラス「いじめ」をテーマに実施する。 ・いじめゼロ月間で実施したことを学年だよりに記載し、情報発信をする。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・保護者の肯定的回答率 85%以上	○教職員が、児童の自己肯定感を高められるような指導に努める。 ・児童を認め励ます指導に努める。 ・Q Uや教育相談の結果を生かし、不登校傾向の早期発見や早期対応を図る。	B	【達成状況】 ・教職員・児童の肯定的回答が目標指数の90%を超えている。 ・保護者の肯定的回答が目標指数を5%下回った。 【次年度の方針】 ・児童の様子を日頃より見守り、気になる児童に対しては早期対応を行う。 ・家庭との連絡をこまめに行う。

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○外国人児童に必要な支援の在り方を共有しつつ指導にあたる。 ・学級担任と外国語指導教員の密接な情報交換 ・保護者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は、100%であった。 ・通訳の方や日本語指導教員を交えて話し合える場を設けたことにより、外国人児童についての共通理解と保護者との信頼関係の構築を図ることができた。 【次年度の方針】 ・学級担任と日本語指導教員の密接な情報交換を行い、外国人児童に対して必要な支援を行っていく。
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・保護者の肯定的回答率 85%以上	○職員が児童の良さを認める指導を行う。 ・児童の良いところを積極的に賞賛する。 ・各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動を充実する。 ・教職員が児童の前で明るくいいきとした姿を見せる。	B	【達成状況】 ・教職員は100%であったが、児童は86.6%で指標を下回った。今年度は、体育館やプールの改修のため、校庭も狭くなってしまい、活動や遊びが制限されてしまった子ども原因と考えられる。 ・保護者の肯定的回答は85.3%と指標を上回った。 【次年度の方針】 ・新しい体育館やプールでの活動を充実させていく。 ・自分の学校に誇りを持てるような取り組みをしていく。
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 95% ・保護者の肯定的回答率 80%	○個に応じた指導の充実を図り、一人一人の達成感や成就感を高める。 ・教材研究を共有し、予測されるつまづきの支援の手立てを工夫し、きめ細やかな指導の充実を図る。 ・習熟度別学習、少人数指導、週2回のレベルアップ教室の充実	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は94.3%，保護者の肯定的回答は80.5%であった。 ・習熟度別学習・少人数指導を計画的に実施し、少人数指導教員と連携しながら個に応じた指導・支援に努めてきた。 ・研究授業や提案講座を実施し、「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を実感できる授業づくりについての研究を進めていくことで、教員の指導力向上と授業改善に努めた。 【次年度の方針】 ・学校独自の学習活動（レベルアップ教室・チャレンジテスト・ぐんぐんタイム）の改善とさらなる充実を図る。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学校全体で良好な人間関係作りに努め、情報交換や連携がしやすい環境を作る。 ・多様な専門性を有するスタッフとの連携協力を図る。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答率96.6%であり、目標指標を達成した。 【次年度の方針】 ・引き続き風通しの良い職場環境の醸成に努め、円滑な情報交換や連携を図っていく。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学校の運営の見直しや行事の実施方法の改善を行う。 ・ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行に努める。	B	【達成状況】 ・昨年度に比べて15ポイントの改善ではあったが、教職員の肯定的回答率が79%であり、わずかに目標指標に届かなかった。 【次年度の方針】 ・指標には届かなかったものの、大幅な改善が見られたので、引き続き本年度と同様の取り組みを行っていく。

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上 ・保護者の肯定的回答率 85%以上	○地域学校園の取り組みを効果的に実施する。 ・あいさつ運動、乗り入れ授業等、地域学校園の取り組みを精選しつつ、一つ一つが効果的効率的に実施できるよう工夫する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答率は93.1%であったが、保護者は79.4%であり、目標指標に届かなかった。 【次年度の方針】 ・「小中一貫教育、地域学校園」は、取り組みの見直し、精選が図られている途上であるため、学校園内小中学校と連携をとりつつ、次年度における取り組み内容の決定、実施していく。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・地域住民の肯定的回答率 90%以上。	○地域協議会と連携し、授業や行事での効果的な支援を受けられるようにする。 ・従来支援を受けてこなかった分野についても、ボランティアを募集するなど、連携を強化する。 ・地域協議会と連携した教育活動について、各種便りやHPなどで積極的な情報発信する。	B	【達成状況】 地域住民の肯定的回答率は93.3%であり、目標指標を達成したが、児童は87.3%でありわずかに指標に届かなかった。 【次年度の方針】 ・児童は、ボランティア等から支援を受けることが日常化しており、特別なことと感じなくなっている面がある。地域からの恩恵を意識化できる機会が必要と思われる。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・地域住民の肯定的回答率 90%以上	○生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習や出前授業等、地域の人材や企業と連携した教育活動の実施。	B	【達成状況】 地域住民の肯定的回答率は93.3%であり、目標指標を達成したが、児童は87.3%でありわずかに指標に届かなかった。 【次年度の方針】 A22と同様の理由が考えられる。活動内容は充実しているので、引き続き取り組むとともに、児童の意識化を図っていく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ・保護者の肯定的回答率 85%以上 ・地域住民の肯定的回答率 85%以上	○施設設備の整備 ・毎月の安全点検の実施。 ・危険箇所の周知。 ・修繕箇所への迅速な対応。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答率は83.5%と目標指数を1.5ポイント下回り、地域住民の肯定的回答率は93.3%と目標指数を8.3ポイント上回った。 ・体育館・プールの工事により、駐車場の数が減少し、自動車の行き来がある場所を児童が通る機会が多くなった。そのため、これまでよりも注意をして行動しなければならない機会が増えた。 【次年度の方針】 ・来年度は工事が終了し、校庭や駐車場が広くなるため、各施設の使用状況を確認しながら、引き続き今年度と同様の取り組みをしていく。
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○機器や図書の整理、確認を随時行い、有効活用を図るとともに、必要に応じて補充を行い、学習環境を充実させる。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答率93.1%であり目標指標を達成した。 【次年度の方針】 ・さらに機器や図書の整理、確認を随時行い、有効活用を図るとともに、必要に応じて補充を行い、学習環境を充実させていく。

本校の特色・課題等	B 1 児童は朝会や集会で、教師や友達の話に耳を傾け、しっかりと聞いている。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 95%以上 ・教職員の肯定的回答率 95%以上	○集会等では、注意されなくても静かに人の話を聞くなど、基本的な態度の定着を図る。	B 【達成状況】 ・肯定的回答が90%を超え、目標指標を上回っている。 ・全体で集まる際のきまりについて、教職員全体で共通理解を図った。 【次年度の方針】 ・集団生活の中で、基本的な話の定着を図る。 ・集会時のきまりの徹底化を図る。
	B 2 学校は読書活動を積極的に推進している。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 90%以上 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○読書カードの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけで、家庭での読書を奨励する。 ○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・5分間ドリルの活用 ・司書によるブックトークやボランティアによる読み聞かせ	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答率88.1%と数値指標をわずかに下回っている。教職員の肯定的回答率は100%であった。 【次年度の方針】 ・司書によるブックトークやボランティアによる読み聞かせを充実させていく。 ・読書カードの有効活用やチャレンジブック多読の奨励、週1回以上の図書室利用の呼びかけを引き続き行っていく。
	B 3 児童は、漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童の肯定的回答率 85%以上 ・保護者の肯定的回答率 85%以上	○チャレンジテストを活用して、家庭学習の習慣化を図る。 ・チャレンジテストに向けて自主的に学習に取り組めるようにする。 ・保護者に対しても協力を得られるよう啓発していく。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答は88.8%であり、昨年度と比べて2.3ポイント増加した。保護者の肯定的回答は83.0%であった。 ・「家庭学習のすすめ」を年度当初に配布し、児童・保護者に向けて発信し、家庭学習の意識付けを図った。 ・「学習がんばりカード」を活用したことにより、チャレンジテストに向けて計画的に学習に取り組む力が身に付き、目標をもって頑張ることができた児童も増加した。また、励ましのコメントを書いてもらうなど、家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を図ることができた。 【次年度の方針】 ・家庭学習の習慣をより一層定着させるために、児童が積極的に取り組めるような宿題の内容の工夫に努め、懇談会やたより等で家庭学習の仕方について説明・紹介することでさらなる意識付けを図る。 ・チャレンジテストをより充実させるため、意義や具体方策を教職員で再確認し、より充実した取組になるよう改善していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学習に関連した項目（A1・8・10・18・B2・B3）の肯定的回答率が高く、目標指数を達成した項目も多かったことから、取り組みの成果が表れてきたものと考えられる。学習指導に関しては、引き続き学力向上を目指した取り組みを継続していきたい。
- ・今年度新たに質問に加わった11項目については、前年度との比較ができないため、今年度を基準として来年度以降の推移を見ていく必要がある。ただし、市平均値と比べて5ポイント以上低い項目が、教職員で8項目にのぼっている。来年度の教育活動を計画するにあたっては、異動により他校の実態を知っている教職員の意見を聴取し、指導に生かしていきたい。
- ・A4の「時と場に合ったあいさつ」は、保護者・地域住民の肯定的回答率が向上したのに対し、教職員が約30%低下した。今年度赴任した教職員が、前任校での指導方法との乖離を感じた結果かと思われる。あいさつの指導方法等について教職員間で共通理解を図るとともに、まだ児童のあいさつが十分でない場面も見られることから、次年度も重点課題として取り組み、家庭との連携も図っていききたい。
- ・今年度加わったA9「宇都宮の良さを知っている」に関しては、保護者・教職員ともに50%台の低い肯定的回答率となった。来年度新設される「宇都宮学」の学習を通して、向上を図っていききたい。
- ・A10の「ICT機器や図書の活用」については、教職員・保護者・児童で肯定的回答率に差が生じた。デジタル教科書を取り入れた授業に取り組んできたが、児童個々が直接パソコンに触れる機会が少なかったことが影響していることが考えられる。来年度から始まるプログラミング教育を通じて、ICTに触れる機会を増やしていくとともに、情報収集や活用はパソコンだけではなく、図書をはじめとする様々な媒体によっても可能であることを気付かせていきたい。
- ・A12「持続可能な社会」については、教職員の肯定的回答率が市平均より約30%低い。「持続可能な社会」の概念について、教職員間および児童と教職員とで認識が一致していない可能性がある。「持続可能な社会」に関する、学年の発達段階に応じた指導内容について、教職員が認識を共有していく必要がある。
- ・A17「学校は活気がある」の肯定的回答率は、児童・保護者・地域住民が低下した。工事に伴い、活動範囲が制限されたり、騒音や振動で落ち着いて取り組めなかったりしたことが影響しているものと思われる。体育館・プールが完成し、校庭も従来通りの広さとなったため、その環境を生かした教育活動を行っていききたい。
- ・A21「小中一貫教育」については、児童・保護者・教職員の肯定的回答率が昨年度より低下した。今年度、小・中学校間の乗り入れ授業が減少したことなどが原因と見られる。あいさつ運動や教職員間の情報交換は例年通り実施しているので、周知に力を入れる必要がある。

7 学校関係者評価

- ・総合的な評価（学校による結果分析と評価）はおおむね妥当と思われる。
- ・学習に関する項目の肯定的回答率が高いことは大変良い。引き続き学習指導に力を入れていってほしい。
- ・「宇都宮学」が新設されるそうだが、本地域は親世代が他県・他市町村の出身者も多い。子どもたちが宇都宮の特徴を学べる良い機会として生かしていってほしい。
- ・「持続可能な社会」は、特に低学年には理解が難しいのではないかと。児童・保護者・教職員間で学年に応じた質問項目を共通理解したほうがよい。
- ・2年間にわたる工事で、児童はのびのびと活動できなかったのが大変だったと思う。体育館・プールも完成し、校庭も従来の広さに戻ったので、来年度は児童がより生き生きと活動できることを願っている。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校関係者評価の結果、各項目に関する分析結果と次年度の方策、及び総合的な評価の方向性については基本的に了承されたため、学校としては、以下の点に留意しつつ、次年度の教育活動に取り組んでいきたい。

- ・学習指導については、引き続き主体的で対話的な深い学びの実現を目指した取り組みを継続するとともに

に、より一層の充実を図るため、児童指導・学級経営と連携し、安心して考えを伝えあえる学級の雰囲気づくりと話し合い活動の充実を図る。

- ・児童指導については、規律やマナーが学校生活の基本であることから、本年度強化が必要と考えられた点について指導の重点化を図るとともに、児童自身がその必要性や重要性に気づき、どのように行動していくことがより良い学校生活につながるか、自主的に判断できるような指導に努める。
- ・健康体力について、本校児童は体力・運動能力が低下しつつあることから、完成した体育館・プール、広くなった校庭を生かした取り組みを行っていく。なお、学校マネジメント全体アンケートの共通質問項目には、健康体力に焦点を当てた質問がないことから、学校独自質問を設定することを検討する。
- ・持続可能な社会、ＩＣＴの活用、宇都宮についての学習等、新たに求められる事項が多岐にわたっているが、新たな施策を立ち上げることのみにこだわらず、各教科領域における指導の中で、意識的かつ柔軟に対応していくよう努める。
- ・本校は、ボランティアの教育活動への参加等、地域の教育力の活用は充実している。従来の取り組みを継続するとともに、地域、家庭と教育ビジョンや問題意識を共有し、より一層、地域や家庭とともに子どもを育て合う環境づくりに努める。